

NEWS RELEASE

インド市場での交通システム事業を 2020 年度 200 億円規模へ拡大
三菱電機 インドに鉄道車両用電機品の新工場設立

三菱電機株式会社は、インドでの交通システム事業を拡大するため、インド・カルナタカ州ベンガルール（バンガロール）に鉄道車両用電機品の新工場を建設します。投資金額は約 9 億円で、2015 年 12 月の稼働開始を予定しています。鉄道インフラの需要が拡大するインドでの地下鉄・機関車等の大型案件への対応強化と保守事業の取り込みを図り、インド市場における交通システム事業の売上高を 2014 年度 100 億円規模（見込み）から 2020 年度 200 億円規模への倍増を目指します。



新工場のイメージ

工場設立の背景

経済発展が著しいインドでは、人口増加・物流需要拡大・環境問題への対応などを背景に、社会インフラの整備が急務となっています。特に、環境負荷が低い、大量輸送手段である鉄道への期待は高く、各都市で導入計画が具体化しており、日本からの円借款による国家的な鉄道建設プロジェクトも計画されています。

当社は、2020 年度の交通システム事業の売上目標である 3,200 億円の達成に向けて鉄道車両用電機品の生産・販売体制の整備を進めています。今回、三菱電機インド内に鉄道車両用電機品の新工場を設立することにより、インド市場での生産・販売・保守体制を構築し、現地に密着した対応を強化することで、インドでの事業拡大を目指します。

新工場の概要

場 所	インド共和国 カルナタカ州ベンガルール（バンガロール）
建屋床面積	4,605m ²
事業内容	推進制御装置、補助電源装置、主電動機の組立・試験および修理・保守
投資額	約 9 億円 (541 百万インドルピー)
工場完成予定	2015 年 9 月
稼働開始	2015 年 12 月
従業員数	約 50 名 (稼働開始時)

三菱電機インドの概要

社 名	三菱電機インド(Mitsubishi Electric India Pvt. Ltd.)
所 在 地	インド共和国 ハリヤナ州グルガオン
事 業 内 容	FA 機器の開発・製造・販売・保守 空調関連機器・映像情報機器・パワー半導体の販売・保守 車両用電機品の製造・販売・保守
沿 革	2010年9月設立
代 表	取締役社長 喜多井 誠
資 本 金	約 46 億円(2,720 百万インドルピー)
出 資 比 率	三菱電機アジア(本社:シンガポール) 70% 三菱電機株式会社 30%
従 業 員	656 名 (2014 年 10 月 31 日現在)

お客様からのお問い合わせ先

三菱電機株式会社 社会システム海外事業部
〒100-8310 東京都千代田区丸の内二丁目7番3号
TEL 03-3218-1415 FAX 03-3218-9048